

# 郡山市公共施設等総合管理計画

## 個別計画

### (水道施設編)

2018年(平成30年)3月

郡山市

所管課

上下水道局経営管理課

生活環境課 上下水道局総務課

上下水道局浄水課

上下水道局水道施設課

# 第1章 概要

## (1) 目的

本計画は、**2016年（平成28年）3月**に策定した「郡山市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設類型ごとに具体的方針を示すものです。

## (2) 対象施設

- ① 本計画は、「郡山市公共施設等総合管理計画」に定める「水道施設」の施設類型の全ての施設（**2018年（平成30年）3月31日**までに竣工予定のものを含む。）を対象とします。
- ② 「水道施設」は、主に水を人の飲用に適する水として供給する施設を対象とします。
- ③ なお、本市所有資産（建物等）による施設のほか、借用建物や複合施設等を含みます。

## (3) 計画期間

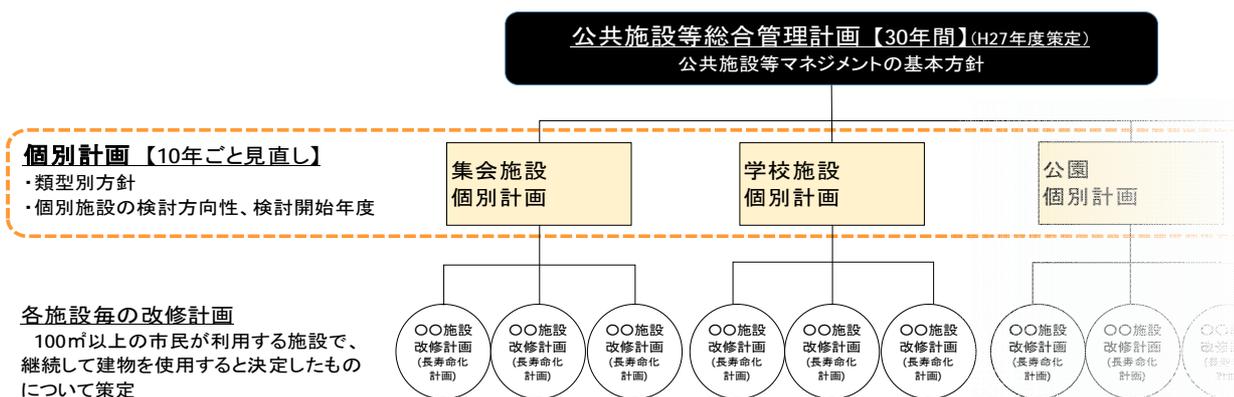
**2018年度（平成30年度）から2025年度（平成37年度）**まで  
ただし、社会情勢等により変更が生じた場合は、都度見直しを行い、郡山市公有資産活用調整会議で調整の上、本計画へ反映させるものとします。

## (4) 既存計画との整理

上水道については、「郡山市水道事業基本計画～こおりやまウォータービジョン～」（**2010年（平成22年）3月**策定）における「実施計画」及び「郡山市水道施設更新・長寿命化計画」（**2018年（平成30年）3月**策定）との整合を図りながら策定するものとします。

## (5) 計画の進行管理

今後は、本計画に基づき、各施設の検討・改修の実施計画となる最適化計画により、毎年度PDCA管理して計画の進捗管理を図ることにより、施設の見直しや計画的な改修等に努めていきます。



## 第2章 公共施設等の現況及び将来の見込み

### (1) 保有資産の状況

#### ① 施設一覧表

No	施設名称	種別	行政管区	運営	建築年度	経過年数	構造	管路延長(km)	延床面積	耐震	備考
1	上水道 基幹管路(導水管)	管路(上水道)	-	直営	-	-	-	20,158.0	-	-	
2	上水道 基幹管路(送水管)	管路(上水道)	-	直営	-	-	-	10,087.0	-	-	
3	上水道 基幹管路(配水本管)	管路(上水道)	-	直営	-	-	-	91,850.0	-	-	
4	上水道 配水支管(管径300mm以上)	管路(上水道)	-	直営	-	-	-	116,445.0	-	-	
5	上水道 配水管(管径300mm以上の配水支管除く)	管路(上水道)	-	直営	-	-	-	1,523,442.0	-	-	
6	工業用水道 基幹管路(導水管)	管路(工業用水道)	-	直営	-	-	-	5,218.7	-	-	
7	工業用水道 基幹管路(送水管)	管路(工業用水道)	-	直営	-	-	-	1,582.8	-	-	
8	工業用水道 基幹管路(配水本管)	管路(工業用水道)	-	直営	-	-	-	3,504.8	-	-	
9	簡易水道 管路(管径200mm以上)	管路(簡易水道)	-	直営	-	-	-	19,304.5	-	-	
10	簡易水道 管路(管径100mm以上、200mm未満)	管路(簡易水道)	-	直営	-	-	-	34,921.3	-	-	
11	簡易水道 管路(管径100mm未満)	管路(簡易水道)	-	直営	-	-	-	18,145.5	-	-	
12	上下水道局庁舎	建物(上水道)	旧市内	直営	1991	26	RC造	-	6,035.3	○	

No	施設名称	種別	行政管区	運営	建築年度	経過年数	構造	管路延長(km)	延床面積	耐震	備考
13	旧豊田浄水場 関連施設	建物(上水道)	旧市内	直営	1990	27	RC造	-	1,578.3	-	
14	旧逢瀬川第一 取水場	建物(上水道)	旧市内	直営	1924	93	RC造	-	152.9	-	
15	荒井浄水場	建物(上水道)	旧市内	直営	1994	23	RC造	-	8,448.8	-	
16	東部ニュータ ウン配水場	建物(上水道)	旧市内	直営	1996	21	RC造	-	72.2	-	
17	蒲倉配水場	建物(上水道)	旧市内	直営	2002	15	RC造	-	50.2	-	
18	矢地内取水場	建物(上水道)	大槻	直営	1985	32	S造・SL造	-	78.3	-	
19	三穂田増圧ポ ンプ場	建物(上水道)	三穂田	直営	1997	20	RC造	-	97.8	-	
20	堀口浄水場	建物(上水道)	逢瀬	直営	1974	43	RC造	-	5,786.6	-	
21	逢瀬川第二取 水場	建物(上水道)	逢瀬	直営	1970	47	RC造	-	108.0	-	
22	本宮館配水場	建物(上水道)	逢瀬	直営	2008	9	RC造	-	24.8	-	
23	河内配水場	建物(上水道)	逢瀬	直営	2009	8	RC造	-	30.0	-	
24	多田野配水場	建物(上水道)	逢瀬	直営	2011	6	RC造	-	40.2	-	
25	堀口浄水場沈 砂池	建物(上水道)	逢瀬	直営	1988	29	RC造	-	13.6	-	
26	堀口浄水場減 勢槽	建物(上水道)	逢瀬	直営	1988	29	RC造	-	18.0	-	
27	山田原増圧ポ ンプ場	建物(上水道)	逢瀬	直営	1999	18	RC造	-	43.7	-	
28	草倉沢増圧ポ ンプ場	建物(上水道)	逢瀬	直営	1999	18	RC造	-	17.5	-	
29	西部工業用水 道浄水場	建物(工業用 水道)	片平	直営	1992	25	RC造	-	934.6	-	
30	西部第二工業 団地増圧ポン プ場	建物(上水道)	片平	直営	1989	28	RC造	-	180.0	-	
31	長橋工業団地 増圧ポンプ場	建物(上水道)	片平	直営	1997	20	RC造	-	88.8	-	
32	新池下増圧ポ ンプ場	建物(上水道)	喜久田	直営	1989	28	RC造	-	147.7	-	

No	施設名称	種別	行政管区	運営	建築年度	経過年数	構造	管路延長(km)	延床面積	耐震	備考
33	湖南東部簡易水道	建物(簡易水道)	湖南	直営	1989	28	RC造	-	35.8	-	
34	湖南西部簡易水道	建物(簡易水道)	湖南	直営	1996	21	RC造	-	41.6	-	
35	熱海中山簡易水道	建物(簡易水道)	熱海	直営	1992	25	RC造	-	32.3	-	
36	熱海浄水場	建物(上水道)	熱海	直営	1970	47	RC造	-	263.3	-	
37	深沢川取水場	建物(上水道)	熱海	直営	2001	16	RC造	-	115.0	-	
38	高森増圧ポンプ場	建物(上水道)	熱海	直営	1989	28	RC造	-	19.3	-	
39	玉川増圧ポンプ場	建物(上水道)	熱海	直営	1998	19	RC造	-	49.8	-	
40	熱海増圧ポンプ場	建物(上水道)	熱海	直営	1987	30	RC造	-	19.3	-	
41	上道渡ポンプ場	建物(上水道)	田村	直営	2006	11	S造・SL造	-	44.4	-	
42	川曲ポンプ場	建物(上水道)	田村	直営	2006	11	S造・SL造	-	26.6	-	
43	川曲配水池	建物(上水道)	田村	直営	2006	11	S造・SL造	-	7.0	-	
44	大田第一増圧ポンプ場	建物(上水道)	西田	直営	1992	25	S造・SL造	-	16.2	-	
45	大田第二増圧ポンプ場	建物(上水道)	西田	直営	1992	25	S造・SL造	-	16.2	-	
46	西田三町目増圧ポンプ場	建物(上水道)	西田	直営	1996	21	PC造	-	26.0	-	
47	根木屋増圧ポンプ場	建物(上水道)	西田	直営	1999	18	RC造	-	43.3	-	
48	鬼生田増圧ポンプ場	建物(上水道)	西田	直営	2001	16	RC造	-	28.9	-	
49	中田簡易水道	建物(簡易水道)	中田	直営	1972	45	CB造	-	4.8	-	
50	高倉配水場	建物(上水道)	中田	直営	1998	19	RC造	-	80.5	-	
51	上石中継ポンプ場	建物(上水道)	中田	直営	2001	16	RC造	-	113.3	-	
52	海老根第2増圧ポンプ場	建物(上水道)	中田	直営	1998	19	RC造	-	99.0	-	

No	施設名称	種別	行政管区	運営	建築年度	経過年数	構造	管路延長(km)	延床面積	耐震	備考
53	上石配水池	建物(上水道)	中田	直営	2001	16	RC造	-	15.0	-	
54	板橋配水池	建物(上水道)	西田	直営	2018	0	RC造	-	30.0	-	
55	高柴ポンプ場	建物(上水道)	西田	直営	2018	0	RC造	-	42.0	-	
合計								1,844.659.6	25,116.7		

(注1) 「構造」、「延床面積」、「耐震化」は建物のみ表記

(注2) 「管路延長」は、管路のみ表記

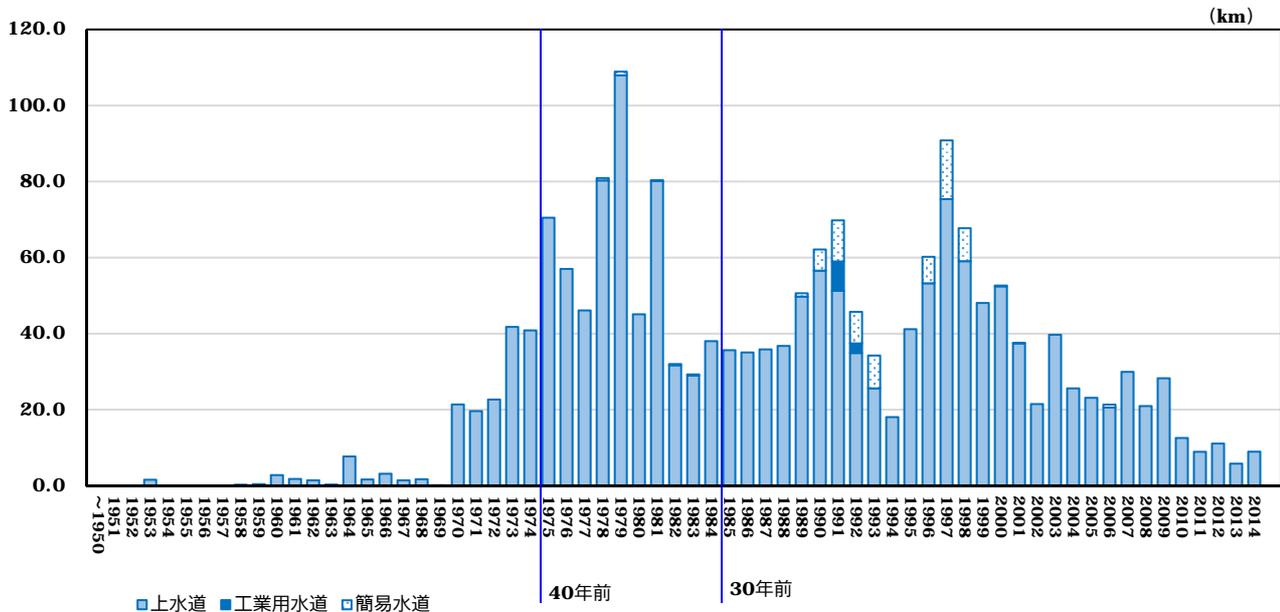
【凡例】

運営	直：直営 指：指定管理 委：運営の一部を委託（指定管理を除く）
所有	市・主：市所有建物等で単独施設又は複合施設若しくは兼施設主要施設 市・副：市所有建物等の複合施設又は兼施設で主要施設でないもの 借：市以外が所有する建物等を借用 他：リース、市以外が所有する建物等の入居部分のみ所有している場合等、その他の手法により調達した建物等
延床面積	市所有分の延床面積 (複合施設の場合は、専有部分を( )書きで表示し、合計面積に含まない)
建築年度	複数の棟がある場合は、主体となる建物の建築年度を表示
構造	RC：鉄筋コンクリート造 S・SL：鉄骨造・軽量鉄骨造 CB：コンクリートブロック造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 W：木造 PC：プレキャストコンクリート造
延床面積	市所有分の延床面積 (複合施設の場合は、専有部分を( )書きで表示し、合計面積に含まない)
耐震	○：施設の耐震化対象の全ての棟が対応済 △：施設の耐震化対象の棟のうち一部が対応済 ×：未対応 -：耐震化対象となる棟がない施設

## (2) 老朽化の状況

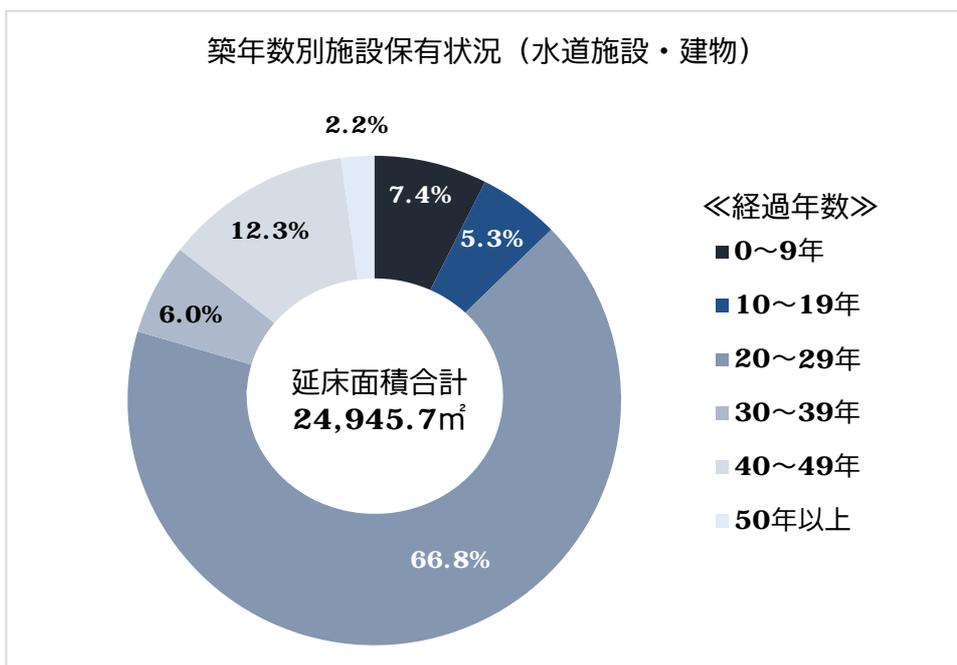
水道の管路は、高度経済成長期の需要の増大を背景に**1973年（昭和48）年～2003年（平成15）**にかけて多く整備され、法定耐用年数の**40年以上のもの**の割合は全体の約**9.3%**にとどまっていますが、**10年後には全体の約41.2%**となり、急激に老朽化が進行していく見込みです。

(水道・工業用水道・簡易水道管路)



水道の建物で**30年以上経過しているもの**は約**20.5%**ですが、**1985年（昭和60年）～1992年（平成4年）**に集中的に整備されており、**10年後には全体の約87.3%**に達し、管路とともに急激に老朽化が進行していく見込みです。

(水道・工業用水道・簡易水道建物)

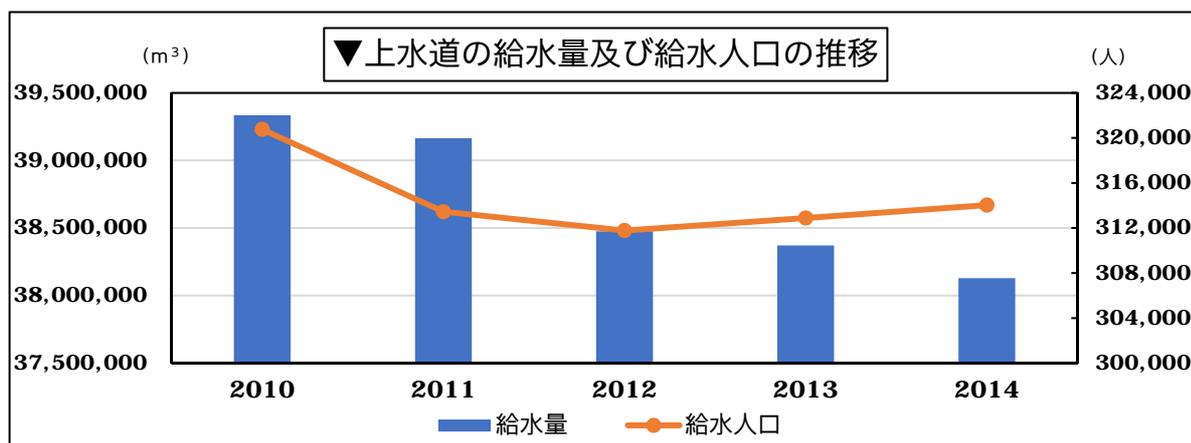


### (3) 利用状況・利用見込み

給水区域内の人口は、東日本大震災後の人口回復に伴い微増傾向にあるが、給水量は、節水意識の向上や原子力発電所事故の影響等から減少傾向にあります。

人口推計の結果、給水人口は市内中心部及び一部の地域の人口は維持される見込みであるものの、一部の給水区域や簡易水道給水区域においては減少する見込みであり、将来的には利用者数は減少する見込みにあります。

工業用水道事業は、現在13社に給水を行っているところです。



▼地区別人口の推計

(単位：人、%)

	2018	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
旧市内	123,195	124,288	126,334	127,555	127,820	126,917
2018年との比較	-	100.89	102.55	103.54	103.75	103.02
富田	26,554	27,103	28,296	29,274	30,050	30,594
2018年との比較	-	102.07	106.56	110.24	113.17	115.21
大槻	35,737	35,801	35,635	35,095	34,222	33,008
2018年との比較	-	100.18	99.71	98.20	95.76	92.36
安積	34,756	35,048	35,489	35,688	35,695	35,453
2018年との比較	-	100.84	102.11	102.68	102.70	102.01
三穂田	4,647	4,510	4,175	3,807	3,432	3,082
2018年との比較	-	97.05	89.84	81.92	73.85	66.32
逢瀬	4,307	4,180	3,835	3,455	3,068	2,708
2018年との比較	-	97.05	89.04	80.22	71.23	62.87
片平	6,355	6,225	5,827	5,385	4,976	4,552
2018年との比較	-	97.95	91.69	84.74	78.30	71.63
喜久田	12,605	13,133	14,385	15,510	16,620	17,895
2018年との比較	-	104.19	114.12	123.05	131.85	141.97
日和田	10,107	10,134	10,189	10,255	10,272	10,219
2018年との比較	-	100.27	100.81	101.46	101.63	101.11
富久山	35,154	35,496	36,198	36,622	36,724	36,547
2018年との比較	-	100.97	102.97	104.18	104.47	103.96
湖南	3,516	3,322	2,821	2,354	1,956	1,607
2018年との比較	-	94.48	80.23	66.95	55.63	45.71
熱海	5,713	5,493	4,960	4,422	3,916	3,411
2018年との比較	-	96.15	86.82	77.40	68.55	59.71
田村	18,318	18,359	18,364	18,234	17,994	17,710
2018年との比較	-	100.22	100.25	99.54	98.23	96.68
西田	4,419	4,324	4,062	3,760	3,450	3,127
2018年との比較	-	97.85	91.92	85.09	78.07	70.76
中田	4,957	4,700	4,082	3,484	2,964	2,516
2018年との比較	-	94.82	82.35	70.28	59.79	50.76
全体	330,340	332,116	334,652	334,900	333,159	329,346
2020年との比較	-	-	100.76	100.84	100.31	99.17

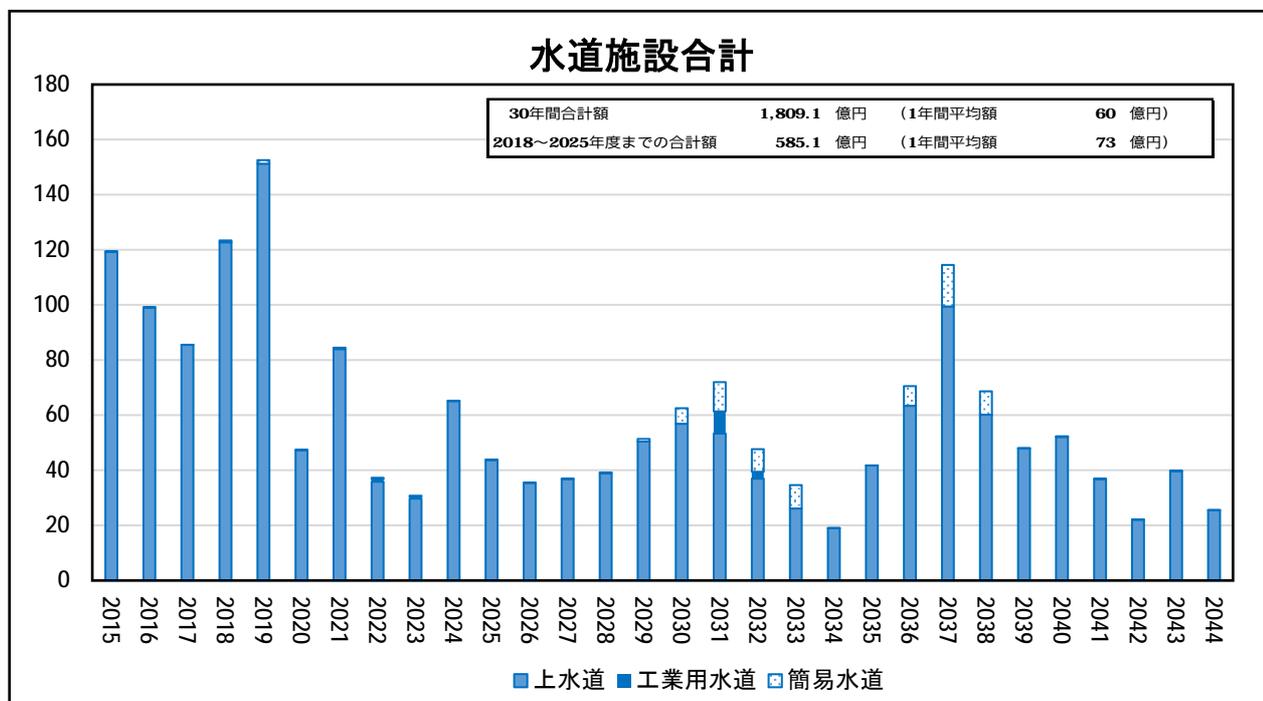
2018年と比較して減少率が10%以上のもの

2018年と比較して減少率が30%以上のもの

#### (4) トータルコスト

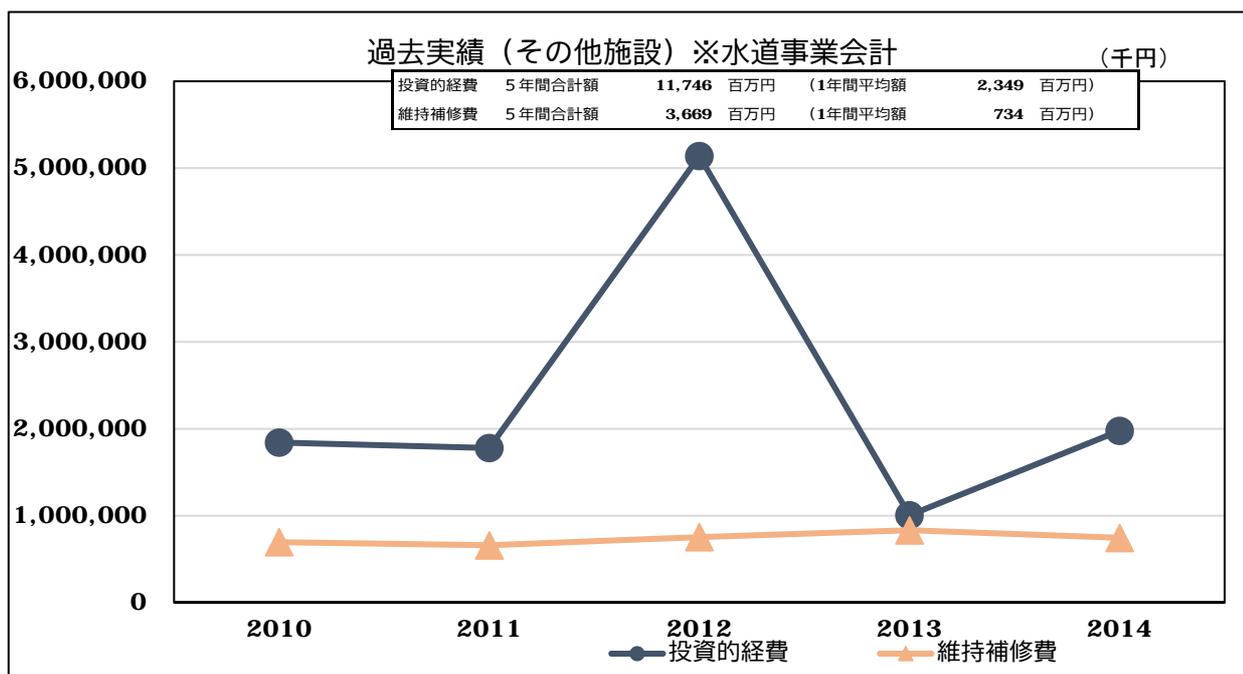
(上水道) 2014年度(平成26年度)給水原価(水を1 m<sup>3</sup>作るために要した費用) 191円/m<sup>3</sup>  
 (簡易水道) 2014年度(平成26年度)給水原価 517.87円/m<sup>3</sup>

#### (5) 更新費用の推計



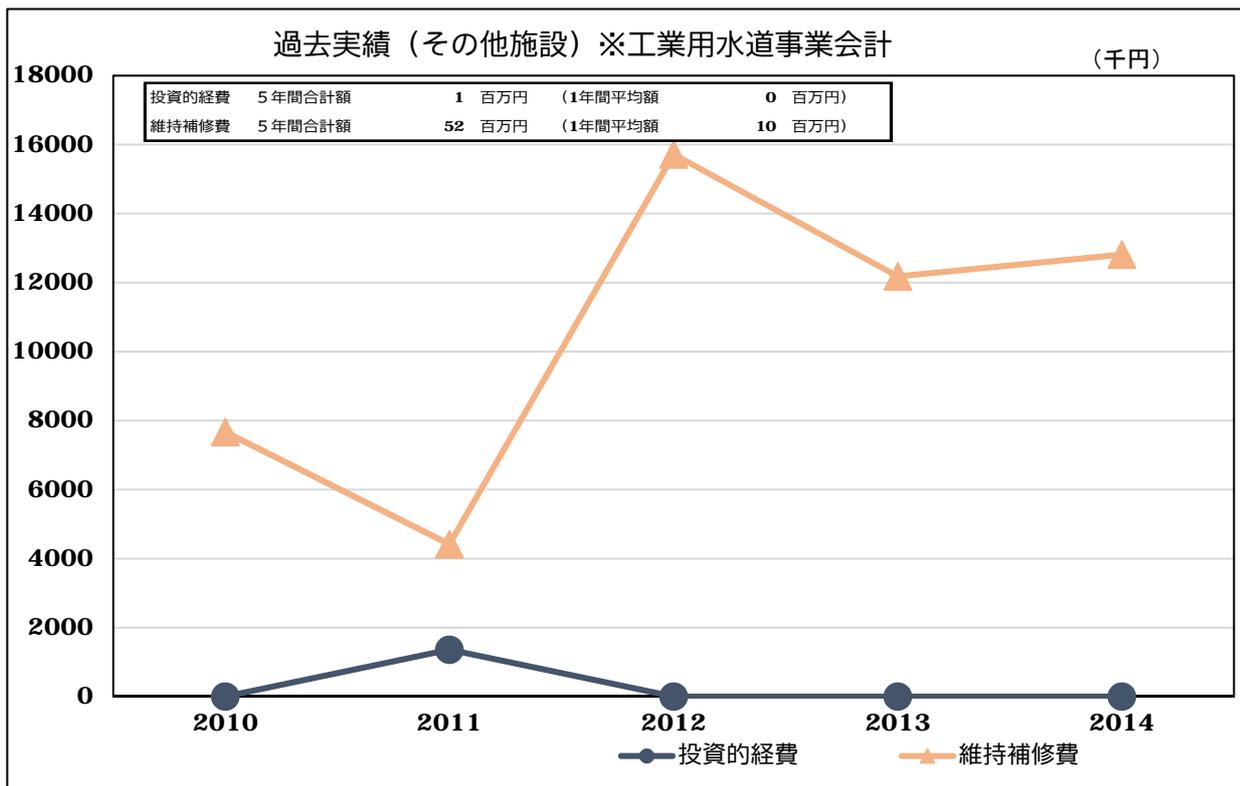
(注) 総務省ウェブサイトで公表されている更新費用資産ソフトを使用

#### (6) 過去実績(投資的経費・維持補修費)の推移



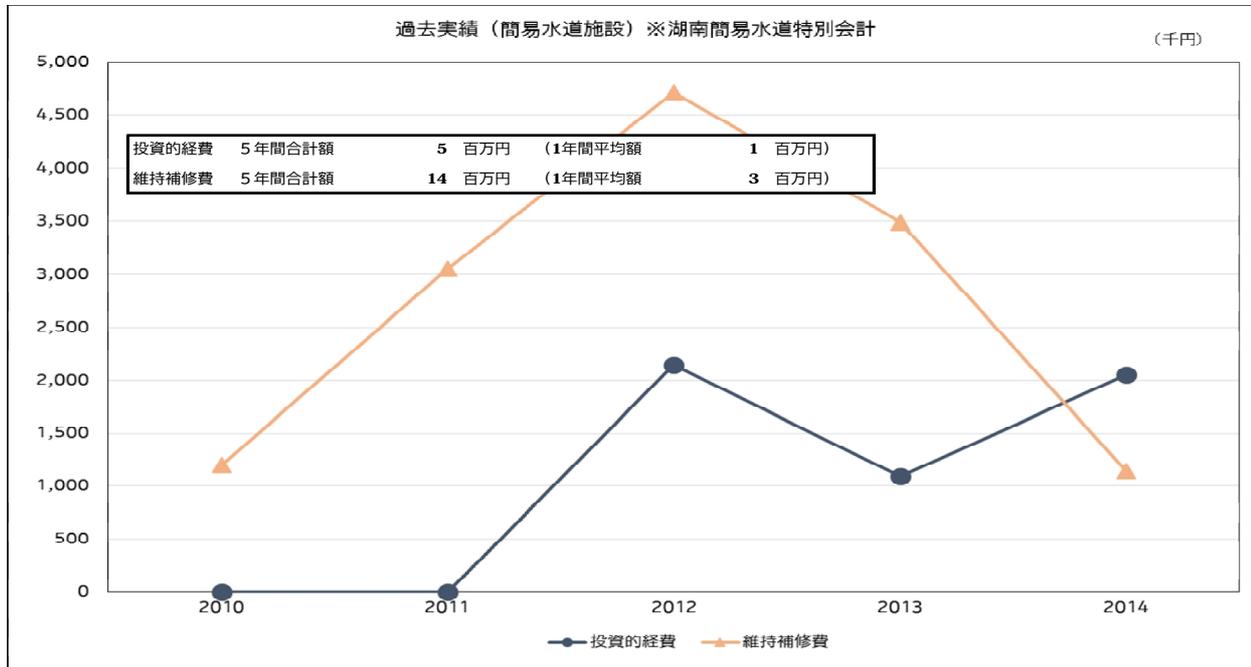
(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、予算科目の目ごとの工事請負費、維持補修費は修繕費を集計



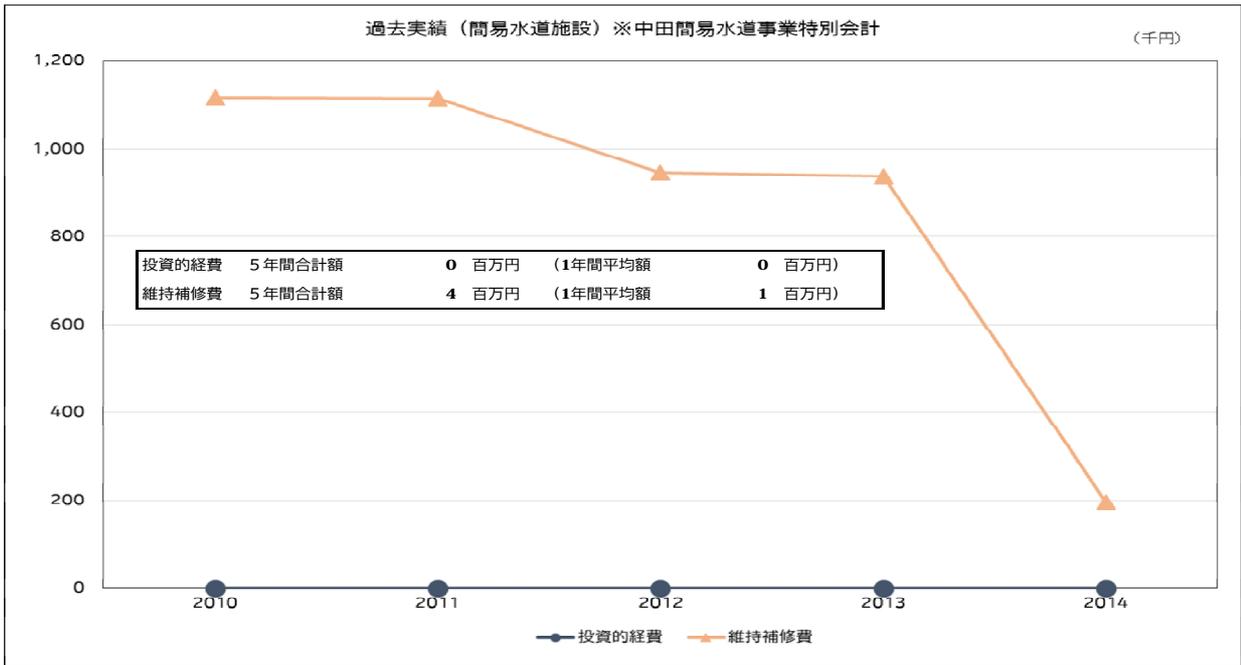
(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、予算科目の目ごとの工事請負費、維持補修費は修繕費を集計



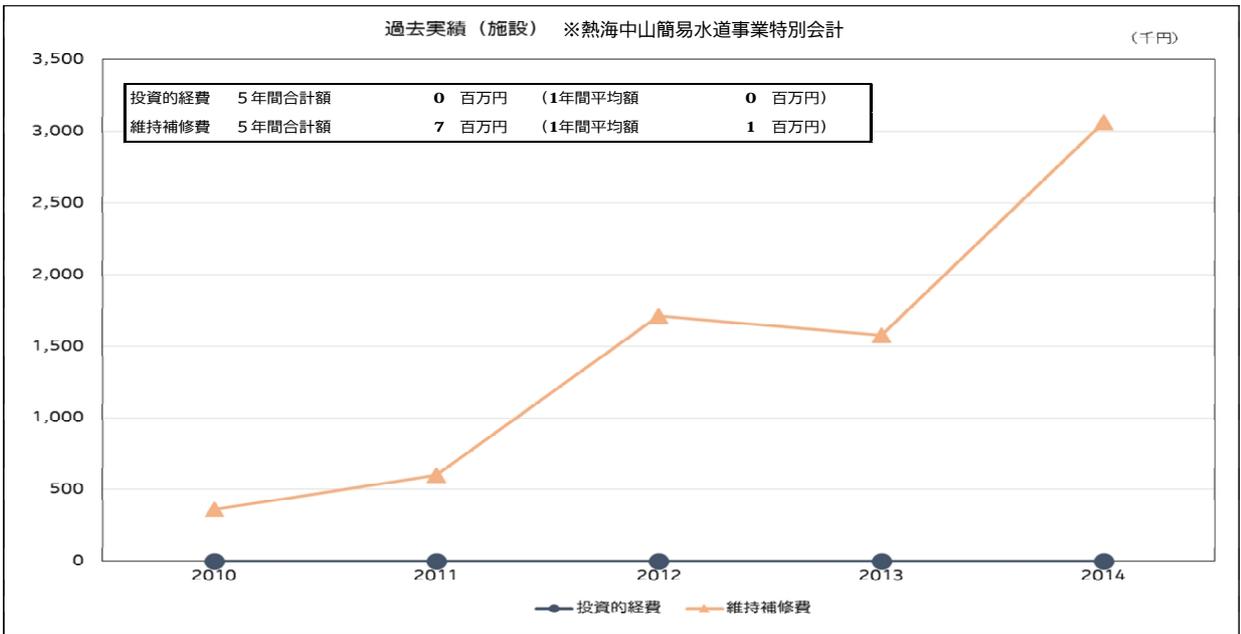
(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、各施設に関連する予算科目の細々目事業の工事請負費（単独事業費・補助事業費）、維持補修費は工事請負費（維持補修）・修繕費を集計



(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、各施設に関連する予算科目の細々目事業の工事請負費（単独事業費・補助事業費）、維持補修費は工事請負費（維持補修）・修繕費を集計



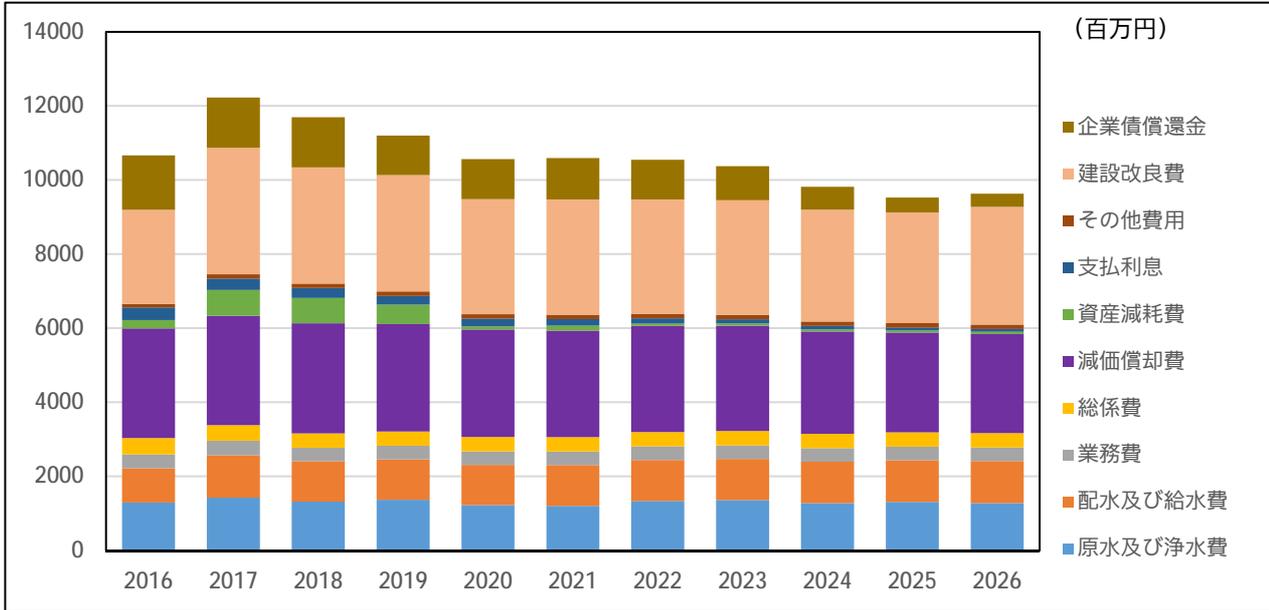
(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、各施設に関連する予算科目の細々目事業の工事請負費（単独事業費・補助事業費）、維持補修費は工事請負費（維持補修）・修繕費を集計

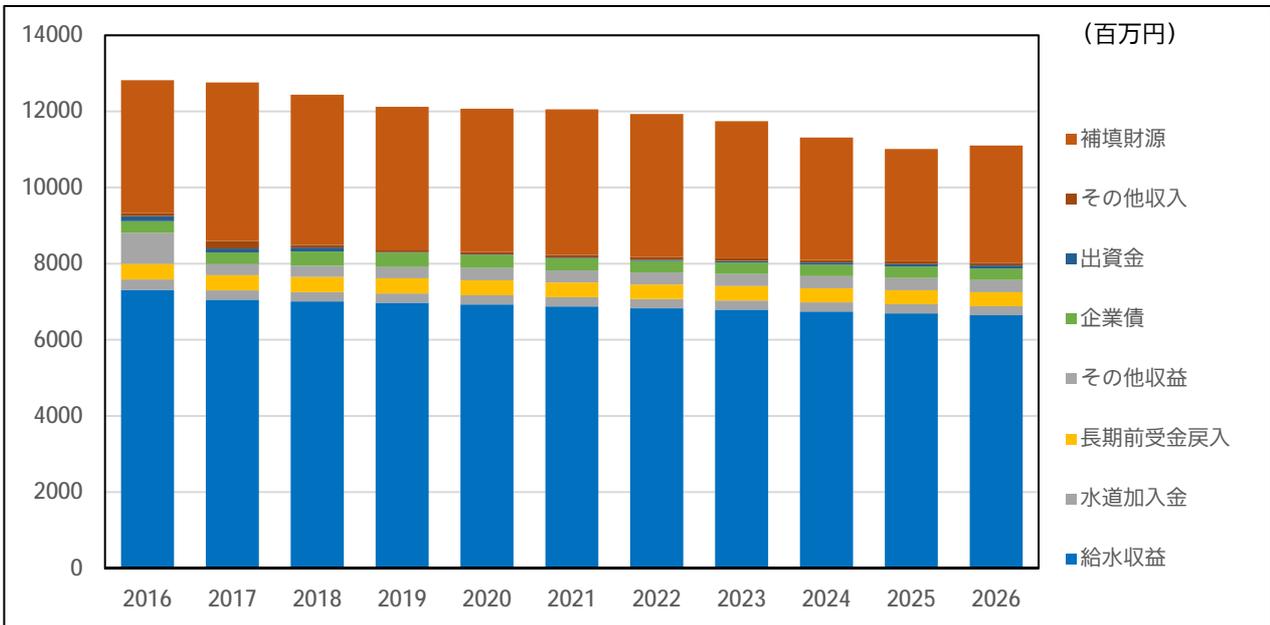
## (7) 財政推計・削減目標値

### 【水道事業会計】

#### ① 財政推計（支出）



#### ② 財政推計（収入）



### ③ 目標及び取組方針

人口減少や節水型社会への移行による給水収益の減少が予想されることから、施設の更新にあたっては、中長期的な視点に立ち、「施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング）」や「性能の合理化（スペックダウン）」など効率的で効果的に行うこととし、予防保全型維持管理による長寿命化やICTの活用による管理運営費用の削減など、経営の合理化と経費の節減、平準化を図ります。上水道については、「郡山市水道施設更新・長寿命化計画」との整合を図りながら進めていきます。

## 第3章 施設類型別マネジメント方針

### (1) 施設の役割

市民（お客さま）が安全で安心して使用できる水道水をお届けするための重要なライフラインを担う施設です。

### (2) 現状と課題

- ① 各浄水場等及び増圧ポンプ場の設備については、実施計画に基づき計画的に改修等を実施
- ② 簡易水道以外の改修計画等は、「郡山市水道事業基本計画」に基づき、毎年実施計画（4年間分）の見直しを行いながら作成
- ③ 建物の多くは建設から20年以上経過しており、管路は法定耐用年数の40年を経過しているものがあります。また、簡易水道については、随時部分的な補修を行い、設備の改修は整備計画に基づき実施
- ④ 水道局庁舎は設備等が古く、不具合箇所が増えてきているため、効率的な改修が必要
- ⑤ 浄水場等の施設更新・改修にあたっては、施設の長寿命化や更新需要の平準化の検討を行い、今後の人口減少や市民の節水意識の向上で給水量が減少する見込みであることなど水需要予測を基に効率的に行うことが必要
- ⑥ 施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング）や性能の合理化（スペックダウン）などを考慮するとともに、管種別の更新サイクルの見直しによる事業量の平準化を図り、効率的で効果的な管路の更新計画を策定中

### (3) 今後の施設のあり方

検討にあたっては、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化、維持管理コストの縮減、施設の最適化及び利用者の安全確保に取り組みます。

また、最適化については、地域の特性を考慮するとともに、使用しなくなった建物・土地については、郡山市公有資産活用ガイドラインに基づき、有効活用を図ります。

#### ① 施設の長寿命化

水道水を安定して供給できるよう「郡山市水道事業基本計画～こおりやまウォータービジョン～」及び「郡山市水道施設更新・長寿命化計画」に基づき、適切な維持管理及び漏水調査等の予防保全に努めながら、施設の長寿命化を図ります。

簡易水道についても、同様に適切な維持管理及び予防保全に努めながら、施設の長寿命化を図ります。

## ② 施設の維持管理コストの縮減及びPPP（官民連携）の推進

施設の維持管理に当たっては、予防保全型維持管理による長寿命化やICTの活用、並びに郡山市PPP（官民連携）導入指針に基づく包括外部委託をはじめとしたPPPの積極的な導入による管理運営費用の削減など、経営の合理化と経費の節減を図ります。

## ③ 施設の最適化

人口減少や節水型社会への移行による給水収益の減少が予想されることから、施設の更新にあたっては、中長期的な視点に立ち、「施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング）」や「性能の合理化（スペックダウン）」など効率的で効果的に行うこととします。

上水道の管路整備については、「郡山市水道施設更新・長寿命化計画」との整合を図りながら進めていくものとします。

なお、市民が直接使用する施設については、施設の大規模改修や更新をする際に、多様な利用者を考慮しユニバーサルデザインに配慮します。

## ④ 利用者の安全確保

老朽化等により危険性が認められた施設は速やかに応急措置や計画的な除却を検討します。

また、「郡山市水道事業基本計画～こおりやまウォータービジョン～」及び「郡山市水道施設更新・長寿命化計画」に基づき、耐震化を踏まえた管路整備を促進してまいります。

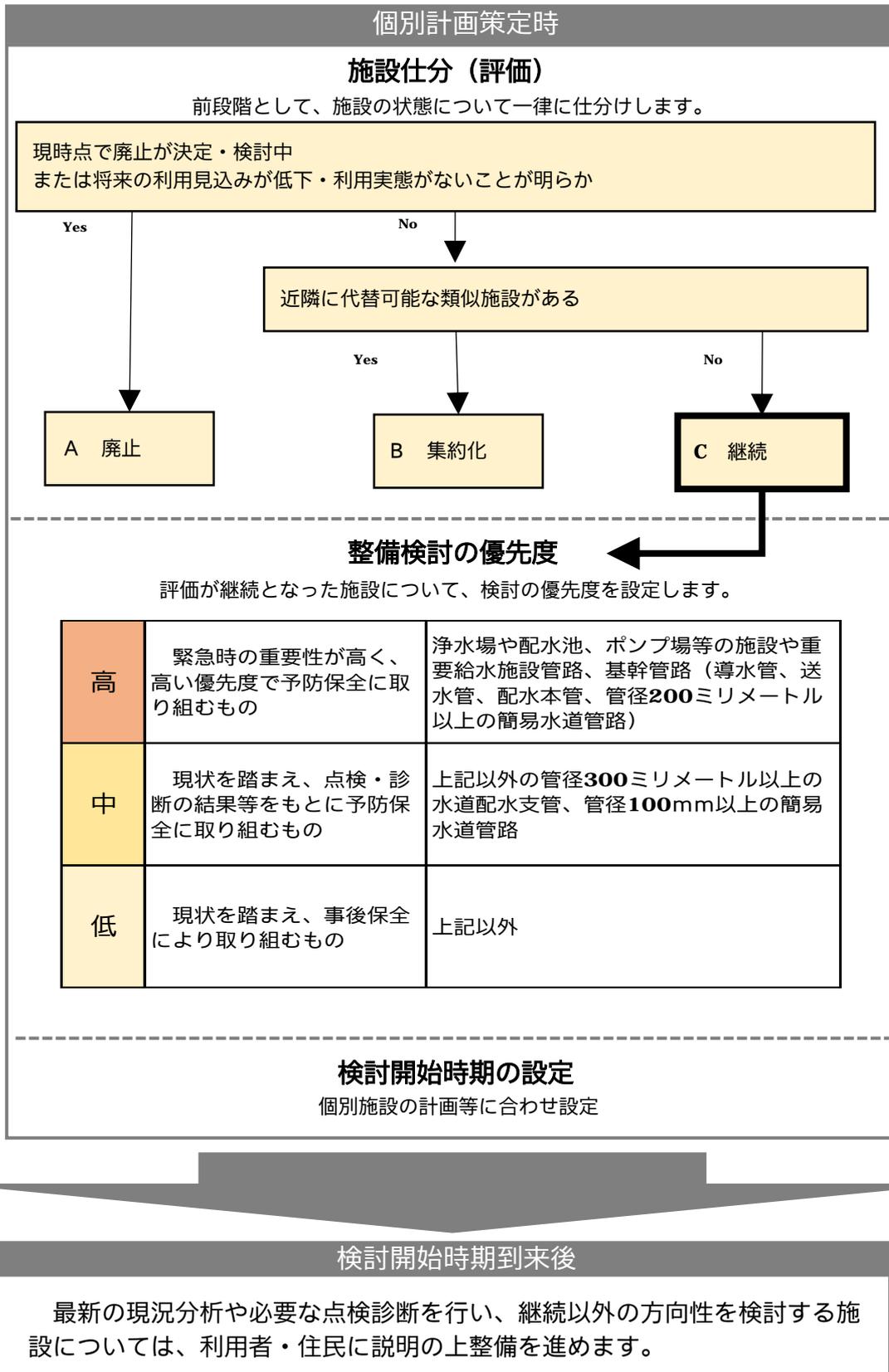
簡易水道についても、予防保全型の維持管理を進めてまいります。

なお、「郡山市耐震改修促進計画」（2016年（平成28年）3月）の対象施設はありませんが、施設内に重要設備等を多く設置している施設については、設備改修時期に合わせ耐震化を検討します。

#### (4) 個別施設方針・検討開始年度

ここで示す方針は、施設の最適化の検討にあたり、施設の役割を踏まえ、個々の施設の長期的な検討の方向性（整備・保全検討の優先順位）を示します。

具体的な実施方法については、検討開始年度が到来した際に、あらためて詳細な現況分析を行い、適切な維持管理を推進します。



## (5) 個別施設方針

No	施設名称	種別	建築年度	評価(仕分)	優先度評価	検討開始年度	備考
1	上水道 基幹管路 (導水管)	管路(上水道)	-	C : 継続	高	次期計画	
2	上水道 基幹管路 (送水管)	管路(上水道)	-	C : 継続	高	検討中	
3	上水道 基幹管路 (配水本管)	管路(上水道)	-	C : 継続	高	検討中	
6	工業用水道 基幹管路 (導水管)	管路(工業用水道)	-	C : 継続	高	次期計画	
7	工業用水道 基幹管路 (送水管)	管路(工業用水道)	-	C : 継続	高	次期計画	
8	工業用水道 基幹管路 (配水本管)	管路(工業用水道)	-	C : 継続	高	次期計画	
9	簡易水道 管路 (管径200mm以上)	管路 (簡易水道)	-	C : 継続	高	2020	
12	上下水道局庁舎	建物 (上水道)	1991	C : 継続	高	次期計画	
15	荒井浄水場	建物 (上水道)	1994	C : 継続	高	次期計画	
16	東部ニュータウン配水場	建物 (上水道)	1996	C : 継続	高	次期計画	
17	蒲倉配水場	建物 (上水道)	2002	C : 継続	高	次期計画	
20	堀口浄水場	建物 (上水道)	1974	C : 継続	高	次期計画	
21	逢瀬川第二取水場	建物 (上水道)	1970	C : 継続	高	次期計画	
22	本宮館配水場	建物 (上水道)	2008	C : 継続	高	次期計画	
23	河内配水場	建物 (上水道)	2009	C : 継続	高	次期計画	
24	多田野配水場	建物 (上水道)	2011	C : 継続	高	次期計画	

No	施設名称	種別	建築年度	評価(仕分)	優先度評価	検討開始年度	備考
25	堀口浄水場沈砂池	建物(上水道)	1988	C:継続	高	次期計画	
26	堀口浄水場減勢槽	建物(上水道)	1988	C:継続	高	次期計画	
27	山田原増圧ポンプ場	建物(上水道)	1999	C:継続	高	次期計画	
28	草倉沢増圧ポンプ場	建物(上水道)	1999	C:継続	高	次期計画	
30	西部第二工業団地増圧ポンプ場	建物(上水道)	1989	C:継続	高	次期計画	
31	長橋工業団地増圧ポンプ場	建物(上水道)	1997	C:継続	高	次期計画	
32	新池下増圧ポンプ場	建物(上水道)	1989	C:継続	高	次期計画	
33	湖南東部簡易水道	建物(簡易水道)	1989	C:継続	高	2020	
34	湖南西部簡易水道	建物(簡易水道)	1996	C:継続	高	2020	
35	熱海中山簡易水道	建物(簡易水道)	1992	C:継続	高	2020	
36	熱海浄水場	建物(上水道)	1970	C:継続	高	次期計画	
37	深沢川取水場	建物(上水道)	2001	C:継続	高	次期計画	
38	高森増圧ポンプ場	建物(上水道)	1989	C:継続	高	次期計画	
39	玉川増圧ポンプ場	建物(上水道)	1998	C:継続	高	次期計画	
40	熱海増圧ポンプ場	建物(上水道)	1987	C:継続	高	次期計画	
41	上道渡ポンプ場	建物(上水道)	2006	C:継続	高	次期計画	
42	川曲ポンプ場	建物(上水道)	2006	C:継続	高	次期計画	

No	施設名称	種別	建築 年度	評価 (仕分)	優先度 評価	検討開始 年度	備考
43	川曲配水池	建物（上水道）	2006	C：継続	高	次期計画	
45	大田第二増圧ポンプ場	建物（上水道）	1992	C：継続	高	次期計画	
47	根木屋増圧ポンプ場	建物（上水道）	1999	C：継続	高	次期計画	
49	中田簡易水道	建物（簡易水道）	1972	C：継続	高	2020	
50	高倉配水場	建物（上水道）	1998	C：継続	高	次期計画	
51	上石中継ポンプ場	建物（上水道）	2001	C：継続	高	次期計画	
53	上石配水池	建物（上水道）	2001	C：継続	高	次期計画	
54	板橋配水池	建物（上水道）	2018	C：継続	高	次期計画	
55	高柴ポンプ場	建物（上水道）	2018	C：継続	高	次期計画	
4	上水道 配水支管（管 径300mm以上）	管路(上水道)	-	C：継続	中	検討中	
10	簡易水道 管路（管径 100mm以上、200mm未 満）	管路（簡易水道）	-	C：継続	中	2020	
5	上水道 配水管（管径 300mm以上の配水支管 除く）	管路(上水道)	-	C：継続	低	検討中	
11	簡易水道 管路（管径 100mm未満）	管路（簡易水道）	-	C：継続	低	検討中	
29	西部工業用水道浄水場	建物（工業用水道）	1992	C：継続	低	次期計画	
13	旧豊田浄水場関連施設	建物（上水道）	1990	A：廃止	-	検討中	
14	旧逢瀬川第一取水場	建物（上水道）	1924	A：廃止	-	検討中	
18	矢地内取水場	建物（上水道）	1985	A：廃止	-	検討中	

No	施設名称	種別	建築年度	評価(仕分)	優先度評価	検討開始年度	備考
19	三穂田増圧ポンプ場	建物(上水道)	1997	A:廃止	-	検討中	
44	大田第一増圧ポンプ場	建物(上水道)	1992	A:廃止	-	-	未給水地区解消事業に合せ検討予定
46	西田三町目増圧ポンプ場	建物(上水道)	1996	A:廃止	-	-	未給水地区解消事業に合せ検討予定
48	鬼生田増圧ポンプ場	建物(上水道)	2001	A:廃止	-	-	未給水地区解消事業に合せ検討予定
52	海老根第2増圧ポンプ場	建物(上水道)	1998	A:廃止	-	検討中	